

1. 概要

書籍等で公表されたオペアンプ回路をPX1010を用いて製作する場合の部品実装設計例を示します。

本書はPX1010の使用方法を示す為のものであり、製作・動作確認はしていません。

また、本書の回路は参考文献発表時点のものであり、発表後日の訂正有無は確認していません。

回路の詳細については参考文献を参照して下さい。

回路	+3V単電源動作ヘッドホン・アンプ回路
回路提供	高遠 遙
参考文献	トランジスタ技術 2010年3月号 別冊付録 「すぐに使える！OPアンプ回路デザイン・ブック」 松井邦彦 監修 CQ出版社 6-6節 63頁
追加配線数	6本
実装設計のポイント	C3をジャンパ接続して単電源用とする。 P33A, P36A, P51A, P58Aの使用。

2. 回路図

参考文献のオリジナル回路をPX1010に実装する為の部品実装設計を反映したPX1010のデバイス番号に依る回路図を2頁に示します。

回路図中の部品はメーカー廃品種になっている場合があります。その場合は適宜代替品に読み替えて下さい。

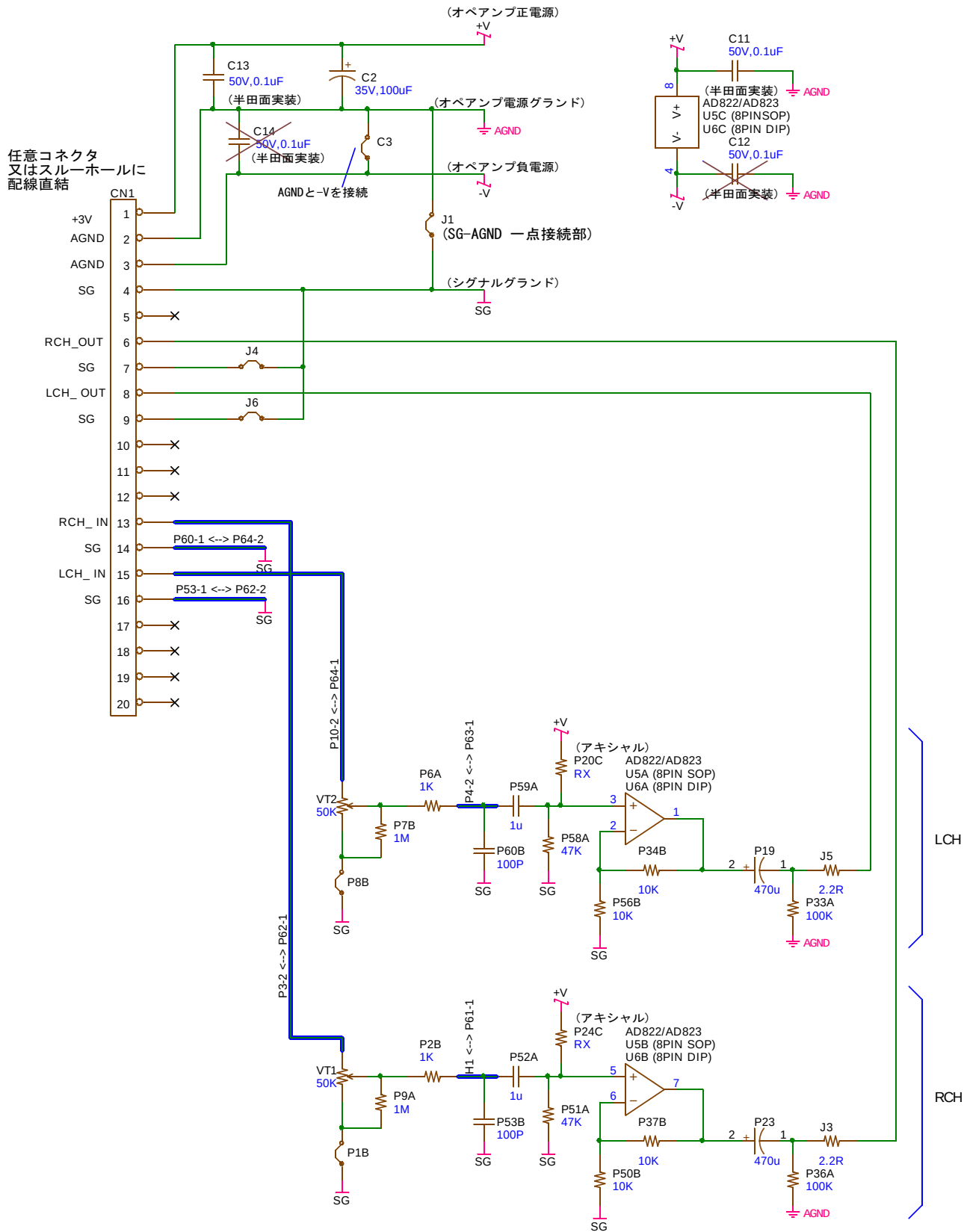
オリジナルの回路は参考文献を参照して下さい。

3. 部品実装図

テンプレートを用いた部品実装設計を反映した部品実装図を3頁、4頁に示します。

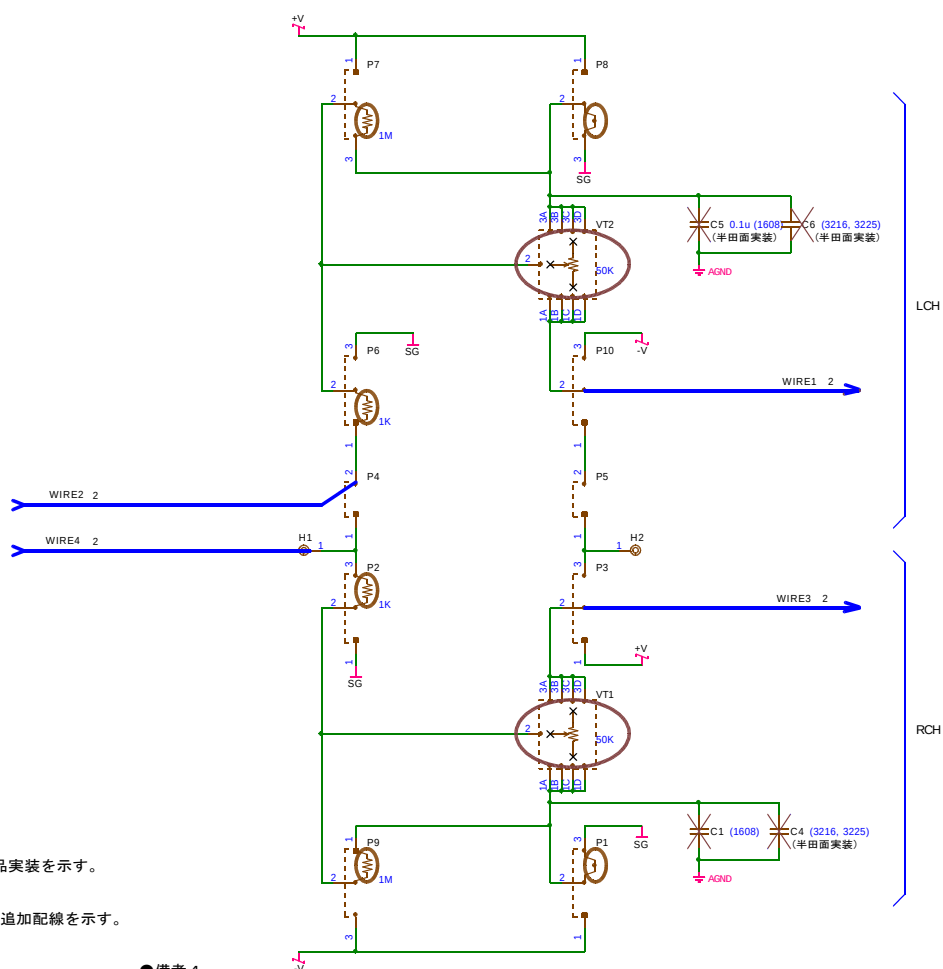
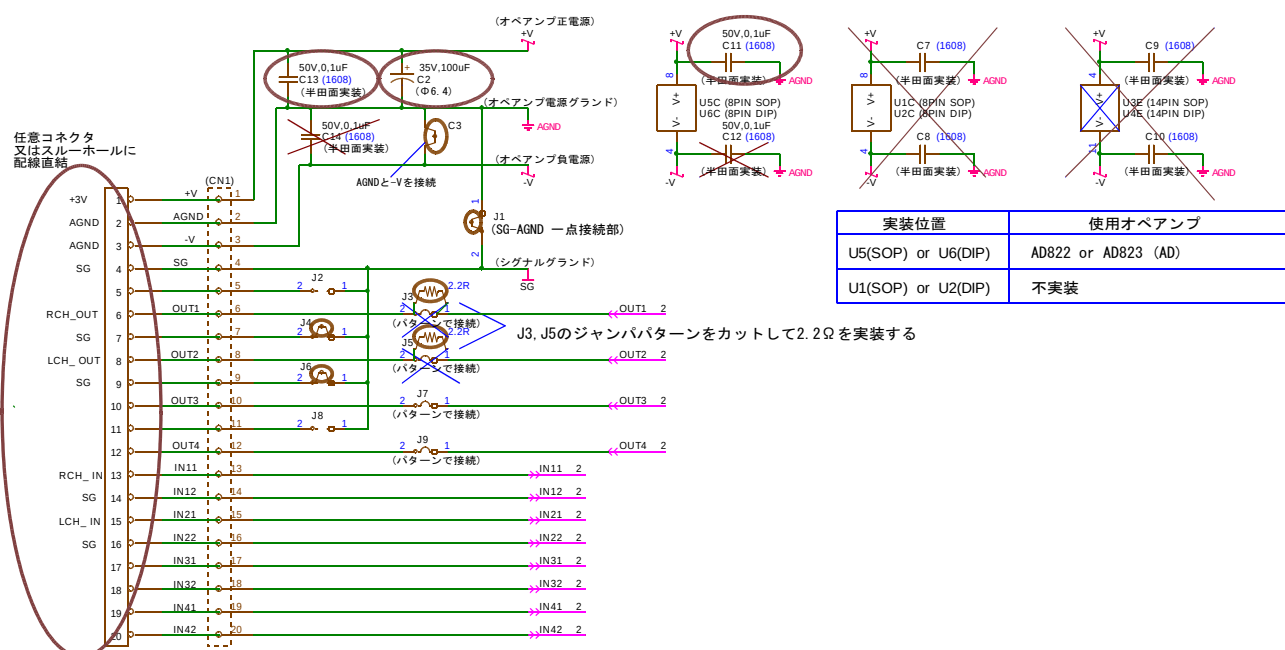
形状が大きく指定デバイス番号部に部品が実装できない場合は、一旦ユニバーサルエリアに実装し、追加配線で該当デバイス番号部に接続して下さい。

● 回路図



Model Name	
Title +3V単電源動作ヘッドホン・アンプ回路 回路図	
Document Number	Page 1 / 1

●部品実装図 (1 / 2)



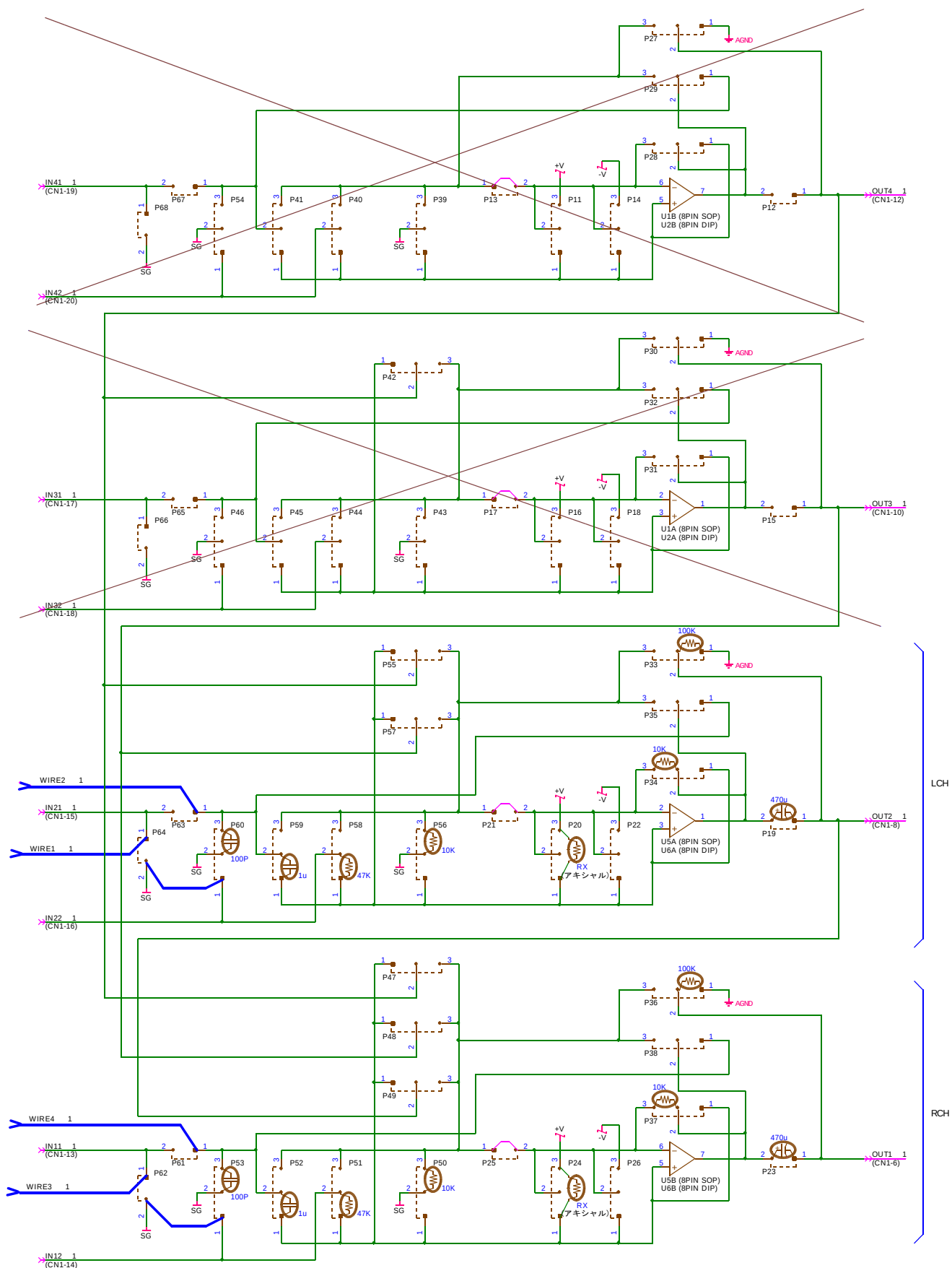
- 備考 1
○ は部品実装を示す。
- 備考 2
— は追加配線を示す。
- 備考 3
パターンの接続
- 3D 3C 3B
1D 2A 3A
1C 1B 1A
- VT1, VT2 TOP VIEW
- 各スルーホール間ピッチは全て 2.54mm

- 備考 4
-
- デバイス番号呼称について
- | | |
|----------------------|--------------|
| Pn1の1-2ピン間に実装したデバイスを | PnA |
| Pn2の2-3ピン間に実装したデバイスを | PnB |
| Pn1の1-3ピン間に実装したデバイスを | PnC(チップ部品不可) |
- と呼ぶものとする。

PX1010 (ProXi)
8ピンデュアルオペアンプ×2個用
部品実装設計テンプレート

Model Name	
Title +3V単電源動作ヘッドホン・アンプ回路 部品実装図	
Document Number	Page 1 / 2

●部品実装図（2 / 2）



PXI010 (ProX)
8ピン デュアルオペアンプ×2個用
部品実装設計テンプレート

Model Name	
Title +3V単電源動作ヘッドホン・アンプ回路 部品実装図	
Document Number	Page 2 / 2